

# 北海道浮魚ニュース

平成 24(2012)年度 5 号

2012 年 6 月 20 日

道総研水産研究本部

釧路水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## ◎道東太平洋スルメイカ資源調査結果

- 表面水温は前年より低い。
- スルメイカの分布密度は前年より低い。
- 体サイズは小型。

調査期間 : 2012 年 6 月 9~16 日

調査海域 : 道東太平洋 (北緯 41 度ライン周辺の 7 調査点)

調査船 : 北辰丸(釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

### 1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 9.2~14.1℃で, 前年 (9.8~17.4℃) よりも低めでした。調査海域の西側の 2 調査点が 14℃台と最も高くなっていました。

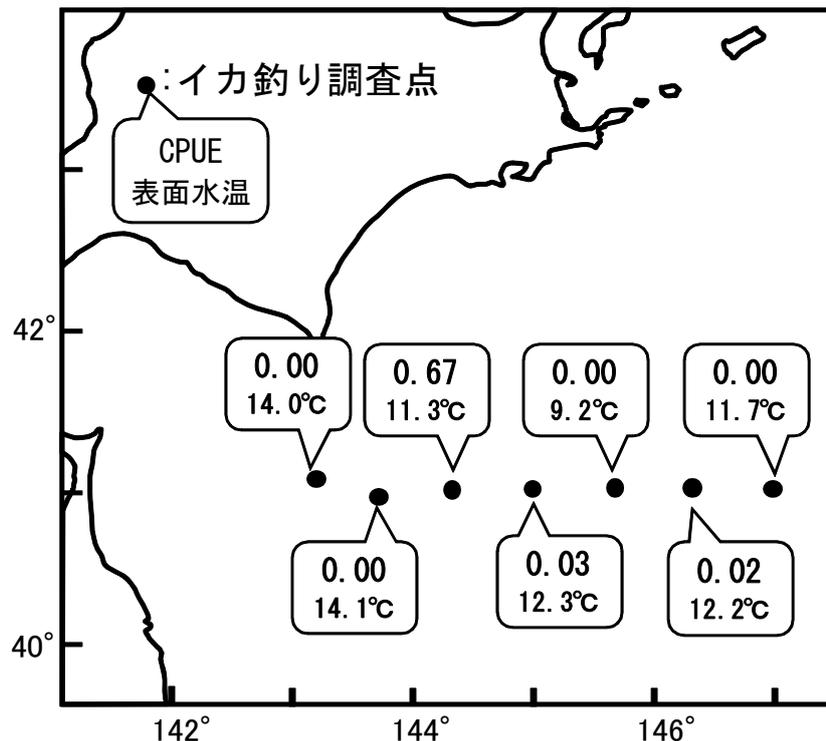


図 1 2012 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度と表面水温  
※分布密度は CPUE (イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) で示した。

### 2. 分布と分布密度 (図 1, 図 2)

7 調査点でスルメイカの分布密度を調べた結果, 分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.00~0.67 でした (図 1)。スルメイカは 3 調査点で漁獲され, 最も分布密度が高かったのは, 東経 144 度 20 分の調査点で, CPUE が 0.67 でし

た。7調査点の平均CPUEは0.10で、前年(0.92)を下回り、1993年以降では3番目に低い値でした(図2)。

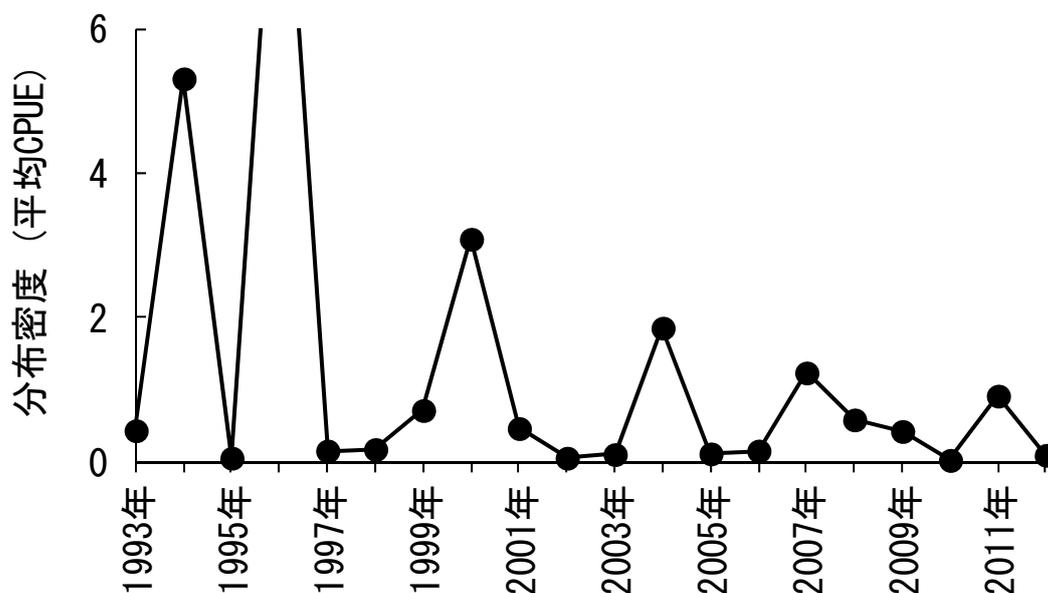


図2 スルメイカの分布密度の経年変化  
※各年の分布密度は全調査点のCPUEの平均で示した。

### 3. スルメイカの大きさ(図3)

スルメイカの外套長(胴長)のモード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は10cm未満で、前年(16cm)より非常に小型でした。範囲は6~11cmでした。

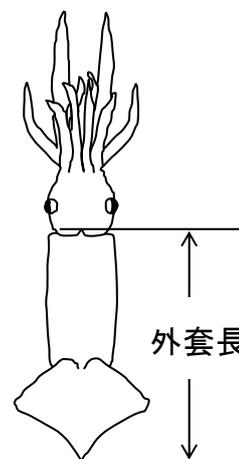
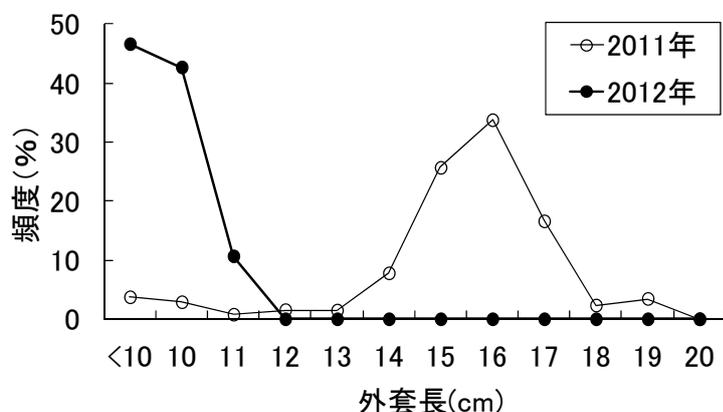


図3 スルメイカの外套長組成

表1 2008~2012年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2008年 6/10~17	199	0.59	7-15	13	7
2009年 6/9~17	165	0.43	10-17	14	8
2010年 6/7~14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7~14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9~16	29	0.10	6-11	<10	7

(文責：釧路水産試験場 調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)